

プランターで作る 瓢箪(ひょうたん)栽培 7月

7月に入るとどんどん花も咲いてきます。実もついてきます。

水をたっぷり、朝と夕方にやってください。

晴天の日の昼間に水をやると、水がお湯になり根が弱ります。

水が足りないと、実がしぼんでしまったり、花が咲かなくなったりします。

1週間に1回は1000倍に薄めた
液体肥料をプランター毎にバケツ
1杯ずつやってください。

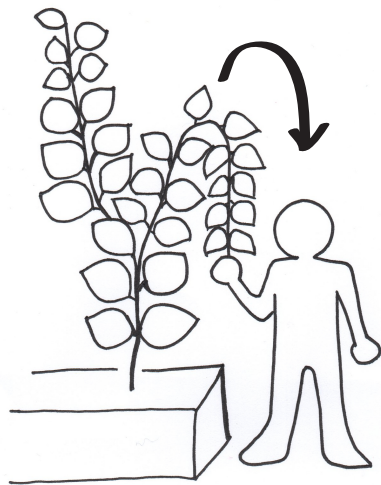


ひと月に1回、つぶ状の化成肥料を
株から離れた場所に1株に大さじ
1杯ずつやってください。



瓢箪のツルは上へ上へと伸びていきます。伸びすぎる前に下へおろします。

手の届かない高さに瓢箪が実ってしまったら、伸びて欲しくない所ツルを巻き
付けたりする前に引っ張って下へおろしましょう。



瓢箪のツルが手の届かなくなる前に
ツルの先を引っ張って下におろします。
手の届かない所まで伸びてしまったら、
おろしたいツルを下の方から引っ張って
引きずりおろしてください。

ご注意：鑑賞用の瓢箪には毒性があるので食べられません。

枯れた葉は切り取ります。

葉の全体が黄色くなってきたり、枯れた葉はハサミで切り取ってください。

人工授粉は7月の中頃まで

受粉してから、実が工作に使える硬さになるには、約50日かかります。

7月後半以降になった実は、工作に使える硬さにはなりにくいです。

鑑賞用で楽しんでください。

実の大きさは受粉から10日間で決まります。

受粉してから10日間で瓢箪の実はどんどん大きくなります。

しかし、大きくなるのはそこで止まります。

それ以降は、実の皮の部分が木化して硬くなっていきます。

木化(もっか)とは、瓢箪の実の皮(外側)が木のように硬くなることです。

実の大きさや形は種の段階で決まっています。

大きな瓢箪は、大きな実の種から。小さな瓢箪は、小さな実の種からできます。

例外として、瓢箪の大きさや形が変わることがあります。

他の種類の瓢箪と受粉することで、できた実の形や種が変異することがあります。

8月

8月は7月の作業の継続です。

特に水を枯らさないようにしっかりとやってください。

追肥もするほうが元気に育ちます。

弱らせないように世話を続けることで、実は硬くなります。

8月中頃以降に付いた実は工作に適した硬さに完熟しない場合があります。